

## 地域密着型サービスの概要

### ・地域密着型サービスとは

今後増加が見込まれる認知症高齢者や中重度の要介護高齢者等が出来る限り住み慣れた地域での生活が継続できるように、平成18年4月の介護保険制度改正により、新たに創設されたサービス体系です。

市町村が事業者の指定や監督を行います。施設などの規模が小さいので、利用者のニーズにきめ細かく応えることができます。

従って、事業者が所在する市町村に居住する者が利用対象者となっています。

#### 1) 小規模多機能居宅介護

小規模な居住系サービスの施設で、通いを中心としながら訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられます。

#### 2) 夜間対応型訪問介護

ヘルパーによる夜間の定期巡回や、緊急時に対応できるように24時間態勢での随時訪問を行います。

#### 3) 認知症対応型通所介護

認知症を持つ高齢者が食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を日帰りで利用できます。

#### 4) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

認知症の高齢者が共同で生活する住居で食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が利用できます。

#### 5) 地域密着型特定施設入居者生活介護

定員30人未満の小規模な介護専用の有料老人ホームなどで食事、入浴等の介護や機能訓練が利用できます。

#### 6) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

要介護者を対象とする定員30人未満の小規模な特別養護老人ホームで、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、健康管理を利用できます。

### ・グループホームとは

少人数の中で「なじみの関係」をつくり上げることによって、生活上のつまづきや行動障害を軽減し、心身の状態を穏やかに保ち、過去に体験したことがある役割、たとえば食事の支度、掃除、洗濯等をスタッフの手を借りながら各自ができる部分を行い、家庭的でゆったりと安定した環境の中で、高齢者の失われかけた能力を再び引き出し、潜在的な力をのばすように働きかけていくことを目標とし、認知症を持つ高齢者が9人以下の少人数で共同生活をしながら、入浴、排せつ、食事等の日常生活上のお世話、機能訓練をしてもらえる施設で、形態としては民家型、アパート型、ミニ施設型など、さまざまです。

利用者は、原則として、施設の所在地の市町村に住んでいる認知症要介護高齢者です。

# 清須市内のグループホーム状況

平成22年3月18日の状況

事業所名		グループホームきよす	グループホームペガサス春日
定員		18人	9人
ユニット数		2ユニット	1ユニット
敷地面積		553.87㎡	294㎡
建物構造		2階建ての1-2階部分	1階建ての1階部分
介護従事者		14人	8人
	専従(常勤)	8人	1人
	専従(非常勤)	6人	5人
	兼務(常勤)	0人	2人
	兼務(非常勤)	0人	0人
入所者		15人	9人
	男	4人	0人
	女	11人	9人
要介護度	要支援2	0人	0人
	要介護1	7人	2人
	要介護2	5人	3人
	要介護3	2人	4人
	要介護4	1人	0人
	要介護5	0人	0人
運営推進会議開催回数		6回/年	3回/年